

働くって大変だね
社会の厳しさを実感

藻岩中学校

商店街がお手伝い

地域の商店や公共施設などで働く職場体験実習を総合学習に取り入れている学校もあります。藻岩中学校はその一つ。提案したのは、藻南商店街振興組合役員を務める五味川博都志さんです。

「総合学習は体験重視の授業。商店街での職場体験なんて面白いんじゃないか」。総合学習の話聞いた三年前、そう考えた五味川さんは、早

速、同中に提案。中学校側からも「ぜひ、生徒に体験させてあげたい」と話ほとんどん拍子に進んでいきました。

平成十二年には、最初の職場体験を試行実施。夏休み期間中の一日で、希望者のみの実習でしたが、参加した生徒たちに大好評だったそうです。

生徒たちの反応に手応えを感じた五味川さんは、昨年の再試行でさらに改善を加え、ついに今年、同中の二年生六十六人による本格実施にこぎ着けました。

実習先もコンビニをはじめ、病院、生花店、ホテル、消防署などさまざま。多くの事業所から協力を得ることができ

ました。

「職場体験を通じて、働くことの苦勞や喜び、必要性を実感してほしい。自分の将来や地域のことを考えるきっかけになってくれれば」。五味川さんは、その思いを語ります。

いざ、職場実習へ!

九月二十六日、二年生八人が職場体験実習で区内の老人保健施設を訪れました。四回目は今年最後の実習日です。「今日もよろしくお願います」。ロビーに若々しい声が響きます。これまでは施設内のベッドメーカーや入浴介助などを体験してきました。今回は入居者との交流会です。

九月二十六日、二年生八人が職場体験実習で区内の老人保健施設を訪れました。四回目は今年最後の実習日です。「今日もよろしくお願います」。ロビーに若々しい声が響きます。これまでは施設内のベッドメーカーや入浴介助などを体験してきました。今回は入居者との交流会です。

生徒たちは、学校生活のこと、家族のこと、昔の生活のことに話しかけます。耳の遠いお年寄りには、大きな声を出したり、顔を近づけて話しかけたり。また、時々「寒くないですか」とお年寄りの健康を気遣うことも忘れません。

お年寄りも生徒たちの話を興味深げに聞きながら、穏やかな表情で受け答えしています。中には、生徒たちが昭和六十三年生まれと聞いてびっくりするお年寄りも。「いいわねー。私にもあなたたちくらいいころがあったのよ」と笑顔返します。そんなお年寄りの姿に生徒たちもほっとした様子。次第にその場の雰囲気

が打ち解けたものになっていきました。生徒たちは「ベッドメーカーが一番難しかった。見た目は簡単そうだったのに：」着替えの手伝いをしたとき、お年寄りは体を自由に動かすことができず大変なことがよく分かった」とそれぞれ体験したことを実感を込めて話します。外見だけで物事を判断してはいけません。相手の目線で実

際に経験しないと本当の苦勞は分からない。生徒たちは、この職場実習を体験して、たくさんの大切なことを学んだようです。

体験実習を終えた生徒たちの姿は、一回りも二回りも頼もしく見えました。

★ ★ ★ ★

総合学習では、子供たちがさまざまな体験をすることが求められています。学校や地域、家庭が協力し合えば、その機会はたくさんあるはず。子供たちの生きる力をはぐくむために、今、地域の「教育力」が期待されています。



▲老人保健施設でお年寄りと談笑する生徒たち。世代を超えた交流は、生徒たちの人間性をより幅広く成長させていくことでしょう



▲理髪店でマッサージの練習に励む生徒たち。店員さんのようには、なかなかできません



▶掃除も大切な仕事です。コンビニで



▲生花店で草花の世話を体験。「花の名前を覚えるだけでも大変でした」